

制 酸 剤

日本薬局方

炭酸水素ナトリウム

*炭酸水素ナトリウム〈ハチ〉

日本標準商品分類番号

872344

| | |
|-------|--------------|
| 承認番号 | (61AM) 3134号 |
| 薬価収載 | 1986年3月 |
| 販売開始 | 1986年3月 |
| 再評価結果 | 1979年7月 |

貯 法：気密容器

使用期限：外箱に表示（3年）

注 意：「取扱い上の注意」の項参照

〔禁忌（次の患者には投与しないこと）〕

（経口）

1. ナトリウム摂取制限を受けている患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等）〔ナトリウムの貯留増加により症状が悪化するおそれがある。〕
- ** 2. ヘキサミンを投与中の患者（「相互作用」の項参照）

〔組成・性状〕

1. 組 成

1g中 日本薬局方炭酸水素ナトリウム1g含有。

2. 性 状

- ・白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、特異な塩味がある。
- ・水にやや溶けやすく、エタノール（95）又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
- ・湿った空气中で徐々に分解する。
- ・本剤1.0gを水20mLに溶かした液のpHは7.9～8.4である。

〔効能・効果〕

（経口）

- ・下記疾患における制酸作用と症状の改善
胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）
- ・アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防

（含嗽・吸入）

- ・上気道炎の補助療法（粘液溶解）

〔用法・用量〕

炭酸水素ナトリウムとして、通常、成人1日3～5gを数回に分割経口投与する。

含嗽、吸入には1回量1～2%液100mLを1日数回用いる。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

（経口）

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 重篤な消化性潰瘍のある患者〔胃酸の二次的分泌（リバウンド現象）により症状が悪化するおそれがある。〕
- (2) 腎障害のある患者〔ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。〕
- (3) 心機能障害のある患者〔ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。〕
- (4) 肺機能障害のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (5) 低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

2. 相互作用

(1) 併用禁忌（併用しないこと）

| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
|--------------------|-------------------------|--|
| ** ヘキサミン（ヘキサミン静注液） | 本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。 | ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。 |

(2) 併用注意（併用に注意すること）

本剤は制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄にも影響を与えることがある。

| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
|------------------|---|--|
| 大量の牛乳 カルシウム製剤 | milk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があるため、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。 | 機序：代謝性アルカローシスが持続することにより、尿管管でのカルシウム再吸収が増加する。 危険因子：高カルシウム血症、代謝性アルカローシス、腎機能障害のある患者 |

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

| | 頻度不明 |
|---------------------|------------------------|
| 代謝異常 ^(注) | アルカローシス、ナトリウム蓄積による浮腫等 |
| 消化器 | 胃部膨満、胃酸の二次的分泌（リバウンド現象） |

注）これらの症状があらわれた場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。

〔薬効薬理〕

炭酸水素ナトリウム1gは約120mLの0.1mol/L HClを中和し、約270mLのCO₂を発生する。投与前の胃内のpHは1.5ぐらいで、1g投与すると、pHは5～7まで上昇する。薬効は速効性であり発生するCO₂は胃粘膜を刺激して二次的に胃液の分泌を促す。

また、炭酸水素ナトリウムには粘液溶解作用がある。

〔有効成分に関する理化学的知見〕

一般名：炭酸水素ナトリウム (Sodium Bicarbonate)

分子式：NaHCO₃

分子量：84.01

性 状：〔組成・性状〕 2. 性状の項を参照のこと。

〔取扱い上の注意〕

配合禁忌

- ・ 重金属、アルカリ土類金属塩、石灰水、多くのアルカロイド塩、アクリノールと配合すると水溶液では沈殿する。
- ・ 酸類、酸性物質とは中和して互いに変化を起こす。
- ・ ヒオスチアミン、その他の生薬製剤では分解を起こしたり、原料に由来する酸性物質などが反応を起こすこともある。
- ・ アスピリン、ジギタリス製剤、抱水クロラールとは湿潤する。
- ・ クエン酸ナトリウムとは条件によって湿潤する。
- ・ 還元鉄、サリチル酸ナトリウム、タンニン酸とは変色する。
- ・ フェノバリン、硫酸鉄とは条件によって変色を起こす。

〔包 装〕

日本薬局方 炭酸水素ナトリウム 500g

〔文献請求先〕

東洋製薬化成株式会社 医薬情報部

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路5丁目20番19号

電話 0120-443-471

販 売



小野薬品工業株式会社

大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号

製造販売



東洋製薬化成株式会社

大阪市鶴見区鶴見2丁目5番4号